

旧松代駅舎について

企画政策部 交通政策局



1 旧松代駅舎の概要

長野電鉄屋代線の廃止に伴い、旧屋代線関連資産の一部として市が無償で譲り受ける

所在地	建設年度	施設概要	現在の利用
長野市松代町松代 (殿町区)	大正11年6月10日 (築102年)	構造：木造 平屋建て 延床面積：94.40㎡ (プラットホーム：約60m)	バス待合所 観光情報案内等の掲示 地元開催イベント等

※土地について： 敷地面積 約430㎡【所有者：長野市（所管課：観光振興課）】

2 旧松代駅舎に関するこれまでの経過

2

年月	内 容	
平成24年4月	長野電鉄屋代線廃止 代替バスの運行開始に伴い駅舎前にバス停設置	
平成24年12月	【市】「千曲川新道活性化プラン ～長野電鉄旧屋代線活用基本構想～」策定	活用
平成25年	【殿町区→市】 駅舎周辺の生活道路と危険なバス停の解消について土木要望	
平成29年6月	【住自協→市】「松代城跡第2期整備計画及び周辺整備に関する意見書」提出 (内容：旧松代駅舎の整備要望)	
平成30年～ 令和2年	【住自協、殿町区】 駅舎周辺の生活道路及び通学路、バス待ちの安全確保等 について協議を継続	
令和3年10月	【住自協→市】 平成29年の意見書について修正意見書提出 (内容：旧松代駅舎の整備要望の取下げ「駅舎の解体やむなし」)	解体 やむなし
令和6年10月	【住自協→市】「松代地区ようこそ市長室へ」 (内容：旧松代駅舎の早期解体の要望)	
令和7年度	【市】 R7予算 早期解体の要望を受け、駅舎解体撤去工事費の計上	方針再検討 (移築)
令和7年4月～	駅舎解体の報道 ⇒ 駅舎存続を求める声、民間事業者から駅舎活用の提案など	
令和7年7月	【住民有志→市・住自協】「駅舎存続」署名(4,286筆 オンライン含む)	
令和7年7月～	【随時】 住自協、存続派との協議、民間事業者による駅舎活用に向けた方針を検討	
令和8年3月	【意見交換会】 ① 周辺整備計画(案)について説明 ② 駅舎保存に向けた事業提案募集について説明	

3 民間事業者による駅舎活用に向けた方針の検討

意見・提案

安全な生活道路のため
早期解体を求める

意見書

老朽化する駅舎の
危険性を訴える声

税金で駅舎の維持
管理は困難 など



駅舎の保存を
望む意見

駅舎の歴史的価値を
訴える声

新たな道路は不要
など

署名4,286筆

複数の民間事業者から「駅舎活用」の提案

市の課題等も踏まえ、実現可能な提案か精査

市の課題等

駅舎が建つ場所は
安全性確保の観点から
道路等整備する必要がある

高額な駅舎の改修や
維持管理コストを
市で負担することは困難

住自協からの意見書及び
駅舎存続要望への対応

“解体”から“移築”へ方針の見直し

移築を条件とした、民間事業者による駅舎の保存・活用

4 旧松代駅舎に関する意見交換会の開催

(1) 意見交換会の概要

① 日 時 令和8年3月7日（土）午後2時～午後5時

② 場 所 松代文化ホール

③ 開催内容（目的）

旧松代駅舎の見直し方針について、市からの提案（「安全な生活道路」と「駅舎保存」の両立案）を説明し、松代地区の皆さんの思いも聴きながら意見等交換した

④ 参集者 松代地区住民、松代地区住自協、松代城跡第2期整備計画検討委員会、松代駅舎みんなの会など 約120名

⑤ 当日次第

○開会

○あいさつ 【交通政策課長】

○市からの提案

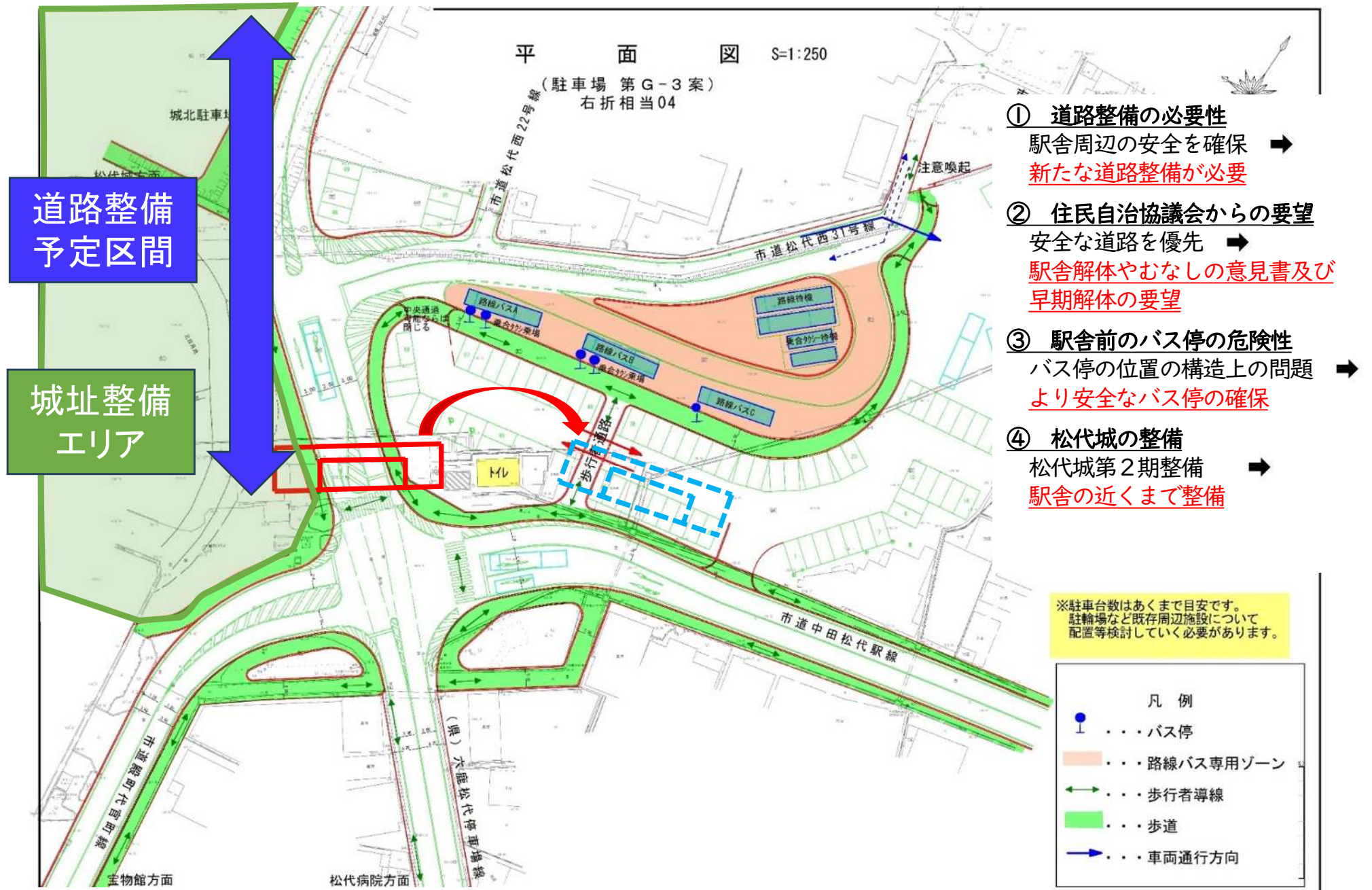
- ・ 駅舎とその周辺整備に関するこれまでの経過について 【松代支所】
- ・ 松代城跡保存整備について 【文化財課】
- ・ 駅舎周辺の道路状況と道路計画案について 【道路課】
- ・ 駅舎活用に向けた市からの提案について 【交通政策課】

○意見交換

- ・ 意見発表① 松代駅舎みんなの会
 - ・ 意見発表② 松代城跡第2期整備計画検討委員会
- ～ 意見交換・質疑応答 ～

○閉会

【その1】 旧松代駅舎周辺整備計画（案）について



道路整備
予定区間

城址整備
エリア

- ① 道路整備の必要性
駅舎周辺の安全を確保 ➡
新たな道路整備が必要
- ② 住民自治協議会からの要望
安全な道路を優先 ➡
駅舎解体やむなしの意見書及び
早期解体の要望
- ③ 駅舎前のバス停の危険性
バス停の位置の構造上の問題 ➡
より安全なバス停の確保
- ④ 松代城の整備
松代城第2期整備 ➡
駅舎の近くまで整備

② 住民自治協議会からの要望
安全な道路を優先 ➡
駅舎解体やむなしの意見書及び
早期解体の要望

③ 駅舎前のバス停の危険性
バス停の位置の構造上の問題 ➡
より安全なバス停の確保

④ 松代城の整備
松代城第2期整備 →
駅舎の近くまで整備

※駐車台数はあくまで目安です。
駐輪場など既存周辺施設について
配置等検討していく必要があります。

- 凡 例
- . . . バス停
 - . . . 路線バス専用ゾーン
 - ↔ . . . 歩行者導線
 - . . . 歩道
 - . . . 車両通行方向

※ 道路計画平面図は、現在のイメージを示すものです

【その2】 移築を条件とした、民間事業者による駅舎の保存・活用について

市の方針を“解体”から“移築”へと見直し、移築を条件に駅舎を活用する民間事業者を募集することについて説明

◇プロポーザル方式の公募による民間事業者の募集◇

【提案内容】旧松代駅舎の移築と、移築後の駅舎の活用及び運営方法

【費用負担】移築や土地にかかる費用、移築後の運営等全ての事業費

【主な公募要件】

- ① 駅舎の活用方法は、地域活性化につながる内容であること
- ② 駅舎は現在の形状を維持した活用を原則とし、建材のみの活用は認めないこと
- ③ 長期に渡る安定的な事業実施の見込みがあること
- ④ 移築先は原則市内とし、松代地区内を優先とすること
⇒提案者から現在地に近い場所で提案してもらえよう
近隣の土地で市から提供が可能な場所を提示する



（3）意見交換会で出された主な意見

【提案賛成派】

- ・市の案で進めてほしい
- ・解体ではなく移転の方法になってよかった
- ・周辺道路の危険回避とバス停周辺の安全確保を改めて要望

【駅舎存続派】

- ・駅舎は現地が望ましい
- ・プラットホームを残してほしい
- ・新たな道路は不要

これまでの経緯及び3月開催の意見交換会を経て、以下のとおり市の方針を決定したい

方針 1

旧松代駅舎周辺の安全確保に向け、道路及びバスロータリーを整備する

方針 2

旧松代駅舎は、移築費用等を含め民間事業者による活用を基本とする

方針 3

民間事業者の選定は、プロポーザル方式を採用する

【意見交換会后、公募要件に以下の3点を追加予定】

- ① プラットホームを含めた活用案とすること
- ② 移築先を現駅舎周辺に限定すること
- ③ バス待合スペースを設けること

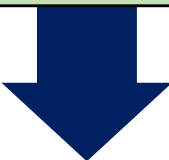


6 民間事業者による駅舎活用までの今後のスケジュール（案）

市

地区

事業者

令和8年5月19日	臨時部長会議	市の駅舎活用等の方針について決定
5月26日	松代城跡第2期整備計画検討委員会	市の方針について報告
5月27日	政策説明会	市の方針を説明
5月28日	定例記者会見	〃
6月上旬	松代地区内全戸配布	市の駅舎活用等の方針についてチラシにより住民へ周知
6月下旬～	移築先環境整備	旧駅舎移築先土地の現地調査・整備工事等
7月上旬～	公募開始	【提案募集】 プロポーザル方式による移築を前提とした駅舎の保存活用
令和8年 秋頃	優先交渉権者の選定契約	【契約】 優先交渉権者の決定
		
令和8年 秋以降～ 令和9年度中	①旧駅舎移築 ②移築後、運営開始	①旧駅舎の移築及び移築後の建物改修 ②民間事業者による運営開始